

はあもにい

第49号

第49号 発行/2026(令和8)年9月10日 藤沢市青少年指導員協議会 発行責任者/金子真由美 編集/広報委員会

【令和8年熊本地震及び8月千葉豪雨で被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます】

『みんなで見守る、藤沢の子どもたち』

藤沢市長 鈴木 恒夫



このたびは、藤沢市及び神奈川県青少年指導員をお引き受けくださいましたことに、心よりお礼を申し上げます。

近年、社会環境が大きく変化する中で青少年を取り巻く状況も大きく様変わりしています。いじめや不登校、SNS上のトラブルなどさまざまな場面に直面することも少なくありません。そうした中で青少年にとって安心して過ごせる環境づくりの重要性はこれまで以上に高まっています。青少年指導員の皆さまには、健全育成・非行防止の両面において、青少年を地域から支え、青少年と社会とをつなぐ役割を担っていただいております。その存在は地域にとってかけがえのないものです。

本市では、「郷土愛あふれる藤沢～松風に人の和うるわし 湘南の元気都市」を目指す都市像とし、テーマの一つに、「笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる」を掲げております。

青少年が安心して育つことができる環境づくりに向けてともに歩んでいただきたいと存じますので、今後ともお力添えをいただきますようお願い申し上げます。

『新しい任期の始まり』

藤沢市青少年指導員協議会会長 金子 真由美



青少年指導員は、1期2年を任期として市長と神奈川県知事から委嘱を受けます。

今年4月に新任56人を含め計200人で活動を開始しました。

子どもたちが安心、安全に過ごすことが出来るよう地域で見守りパトロールをはじめ、事業を開催し工作やゲーム遊びなどを行っています。

また指導員の研修として講演会を開き、SNSの現状やジェンダー平等についてなど各方面の講師からご講話いただいております。

今藤沢市でも、子どもたちが安心して過ごせる居場所づくりが進められています。自分らしくいられる、ほっとする場所、いっしょに居たい人と好きなことをする時間、空間や人とのつながりも居場所となります。私たち指導員の活動も居場所に繋がるよう子どもの声を聴いていきたいと思っております。

今後も学校、地域や関係各所と連携を図りながら青少年の健やかな成長を見守ってまいりますので、ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。



青少年指導員協議会の活動を載せたHPをご覧ください



青少年指導員って何をしているの？



青少年指導員の主な活動は青少年の【健全育成】と【非行防止】です。

藤沢市では、各地区青少年育成協力会と、小中学校及びその保護者代表から推薦された青少年指導員が、青少年のために健全育成活動・非行防止活動を行っています。

～青少年指導員のおもな活動内容～

【健全育成】

🔥 JUMP UP U-20 WINTER CONCERT

音楽活動をしている青少年に発表の場を提供しています。

今年度より運営ボランティアを募集しました！

日時：12月13日（日）午後

場所：F プレイスホール 3 階

🔨 創作・メンテナンス活動

広報活動周知として缶バッジ作製、大型紙芝居や人形劇、エプロンシアターの創作や修理をしています。

🌟 各地区での育成事業 パネル展示

本協議会と各地区の青少年育成協力会の一員として、子ども向けの事業を行いその活動を市役所にてパネル展示しています。



入場無料



【非行防止】

🚶 地区パトロール

月2回、緑のワッペンをつけた指導員が通学路などのパトロールと子どもたちへの声かけをしています。

🔍 青少年にとってのよい環境を考えるつどい

7月のこども家庭庁主唱「青少年の被害・非行防止全国強調月間」に、講演会などを企画しています。今年は7月8日（水）に開催しました。

※詳細は次頁参照

📄 非行防止ポスター展 10月8日（木）～10月19日（月）

藤沢市役所本庁舎1階ラウンジにて開催予定です。

夏休みの課題として非行防止ポスター展の作品を市内在住・在学の中学生を対象に募集しています。



みらい子どもフェスタ in 少年の森 少年の森へ5・5・60！



竹ぼっくりあそび



竹馬あそび



5月5日（火・祝）少年の森 来場者：3,146人
青少年指導員ブースでは、さまざまな【あそび】を用意しました！
子どもたちの元気な声と笑顔が溢れ、大人も子どもも楽しんだ一日でした。

普通救命講習【Ⅲ】

講師は、消防・救命救急指導員。
成人・乳幼児の人形を使用し、心肺蘇生法、AEDの使用法、異物除去法等を学びました。いざという時、学んだ知識を活かし勇気を持って行動できるよう心がけたいです。参加：48人



5月29日（金）市役所本庁舎にて



新任研修会

県の職員から青少年にまつわる条例、青少年課の街頭等指導員からは、パトロールの注意点を伺いました。活動や意義についての理解が深まりました。参加：40人



青少年指導員の活動パネル展示

ひとりでも多くの方に青少年指導員の活動を知っていただくために、本協議会と14地区それぞれの活動内容をパネル形式にて展示しました。

◆藤沢市役所本庁舎

1階ラウンジ◆



期間：7月23日（木）～8月3日（月）



幸せに生きるために 思春期の性の健康を学ぼう

～男女交際やジェンダー平等を世界基準から考える～

講師 もんま みか 門間 美佳 氏(藤沢 女性のクリニック もんま 院長)

プロフィール

山梨医科大学医学部を卒業後、大学病院や基幹病院の産婦人科で勤務。妊娠・出産、月経のお悩み、更年期障害、婦人科疾患の治療、がん検診まで、女性の健康に関する幅広い経験を持つ。地域に信頼される「かかりつけ医」として女性が安心して相談できる温かいクリニックを目指し「藤沢 女性のクリニック もんま」を開業。気軽に相談できるワンコイン・ユースクリニックも併設している。日本産科婦人科学会専門医。



1999年のこどもの自殺率は日本とフランスで同率であったが、フランスでは社会の課題として捉え、相談できるシステムを確立したことで自殺率は半減した一方、日本は4倍から5倍に増加したというショッキングなお話からはじまりました。【性の健康を守るため】避妊も中絶も決して個人の問題ではなく、国や自治体が介入していくことで状況が改善されていくとお話いただきました。

門間先生が取り組んでいらっしゃるユースクリニックは「悩みがある人が来るところ」に限定せず、「みんな誰でも来てよいところ」とし、【声なき声を拾う】環境を整えて、性の悩みを気軽に話せる場としたそうです。

先生のお話の中で世界に比べ、日本のHPVワクチン(※1)の接種率の低さに驚きました。私たち大人が正しい知識を得て、抑制するだけでなく包括的性教育(※2)が大事であることを教えていただきました。

※1 子宮頸がんの原因であるヒトパピローマウイルス(HPV)の感染を予防するワクチン

※2 身体や生殖のしくみだけでなく、人間関係や性の多様性、ジェンダー平等、幸福など幅広いテーマを含む教育。従来の性教育よりも大きな視点で「性」や「らしさ」を問い直すもの

◇青少年の被害・非行防止全国強調月間キャンペーン

◆7月1日(水) 藤沢駅北口サンパール広場

鈴木市長、市・県職員、少年補導員、保護司会、藤沢警察署の協力のもと、青少年の飲酒・喫煙・薬物乱用防止を呼びかけ、啓発物品を配布しました。

◆7月2日(木) 辻堂駅北口

川崎副市長、教育長、子ども青少年部長、保護司会が参加し、啓発物品を配布しました。



◇青少年夏期特別街頭指導パトロール

夏季休業中に、青少年課主催の夜間パトロールを実施しました。

◆藤沢駅 : 7月14日(火)

◆湘南台駅 : 7月16日(木)・8月20日(木)

◆片瀬江ノ島駅周辺 : 8月17日(月)



横断幕掲示期間

7月1日(水)～8月31日(月)

場所: 藤沢駅北口サンパール広場

編集後記

被災された皆さまに一日も早く救助や復旧が進み、安心して過ごせる日常が戻ることを願っています。さて昨年度より、市内小・中学校へは「すぐーる配信」となりました。紙面を通して、私たちの活動がひとりでも多くの皆さまへ興味や関心を持っていただけるようにこれからも発信していきます。